

リバーミーティング開催報告

2006年6月4日  
司会担当委員 中川芳江

回数 / 開催日	会場	テーマ
第1回 平成16年9月4日(土)	アピアホール (宝塚市)	武庫川川づくりへ私の意見
第2回 平成16年11月20日(土)	尼崎商工会議所 (尼崎市)	今の武庫川、次の世代に引き継ぎたい武庫川
第3回 平成17年1月29日(土)	篠山市立四季の森 会館(篠山市)	今の武庫川、これからの武庫川～ 上流の課題と上・下流の交流～
第4回 平成17年3月26日(土)	西宮市民会館 (西宮市)	下流域の課題 ～武庫川と私たちの暮らし～
第5回 平成17年6月5日(日)	三田市商工会館 (三田市)	: 市民が親しめる武庫川づくり : 流域開発と武庫川
第6回 平成17年7月31日(日)	アピアホール (宝塚市)	都市部での総合治水 ～内水問題,浸透促進,土地利用規制, 雨水貯留,利水,その他～
第7回 平成17年9月24日(土)	篠山市立四季の森 会館(篠山市)	総合治水と森林・農地
第8回 平成17年10月17日(月)	神戸市教育会館 大ホール (神戸市)	特別企画(公開勉強会) - 森林の 保水機能(緑のダム) - 講師: 寶 馨氏(京都大学教授)、 蔵治光一郎氏(東京大学大学院講師)
第9回 平成18年1月28日(土)	尼崎市立すこやか プラザ(尼崎市)	総合治水対策
第10回 平成18年3月25日(土)	尼崎商工会議所 (尼崎市)	武庫川の治水方針
第11回 平成18年6月4日(日)	アピアホール (宝塚市)	武庫川づくりの最終提言に向けて

本日(6月4日)の第11回をもって、当委員会としての開催はすべて終了した。

当初の基本的な方針どおり、委員会自身が運営し、委員会と住民、住民相互の意見交換の場として運営を行ってきた。このことによって、上・中・下流住民がそれぞれの立場・視点から意見を交換する場として、また、委員会と傍聴者や住民との意見交換の場として一定の成果を挙げたと評価しうる。また参加者と委員会の間に一定の信頼感が醸成できたことも評価したい。

リバーミーティングは、準備会提言書で求められた「流域委員会は、関係住民や傍聴者からの意見を議論に反映させるため、意見交換等住民意見聴取の方策を検討する。」に対して、十分に役割を果たしたと言ってよいだろう。言うまでもなく、これらの成果は、参加者と委員会の協働によって創り出したものである。

今後に向けた課題としては、参加者の固定化を如何に回避していくかという全国共通の課題を指摘しておく。

委員会の諮問期間が終了しても、「武庫川づくり」に終了はない。長年ダム問題で揺れてきた武庫川流域においては、住民の参画と協働による流域のさまざまな人々の手による武庫川づくりはまだ緒についたばかりである。武庫川づくりは決して行政のみが担うものではなく、住民も主体的に関わっていくことが大変重要である。リバーミーティングが今後の流域連携や武庫川づくりのための礎となることを願う。

最後に、終了にあたり委員に拍手を贈って下さった参加者一同に心から感謝申し上げる。